

令和5年度第2回 湯沢町地域公共交通活性化協議会 次第

日時：令和6年3月27日（水）10：00～

会場：湯沢町役場 3階大会議室

1. あいさつ

2. 議事

議題1 地域移動環境計画の進捗確認（資料1）

議題2 令和6年度の路線バスの運行について（資料2）

（1）路線バス 土樽線について

（2）路線バス 六日町線・森宮野原線について

議題3 利便増進計画の作成について

3. その他

令和5年度第2回 湯沢町地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

No	所属	役職	氏名	備考
1	湯沢町	町長	田村 正幸	会長
2	湯沢町健康福祉部福祉介護課	課長	南雲 重幸	
3	湯沢町子育て教育部教育課	部長兼課長	古川 健一	欠席
4	湯沢町子育て教育部子育て支援課	課長	田村 美和子	(代理) 原沢大輔 子育て支援係長
5	新潟県交通政策局交通政策課	課長	斎藤 茂樹	(代理) 交通政策課 遠藤主事
6	新潟県南魚沼地域振興局企画振興部	地域振興専門員	桑原 貴昭	
7	東日本旅客鉄道株式会社越後湯沢駅	駅長	千代 達彦	
8	北越急行株式会社運輸部	部長	桑原 信之	
9	南越後観光バス株式会社	取締役 乗合部長	川上 洋一	
10	株式会社エンゼル観光本社営業所	所長	高橋 哲也	
11	湯沢町タクシー協会	(幹事) ゆざわ魚沼タクシー(株)営業部長	深井 静男	
12	国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所計画課	課長	水口 直人	
13	新潟県南魚沼地域振興局地域整備部計画調整課	課長	新保 良勝	
14	湯沢町地域整備部建設課	課長	田村 康大	
15	国土交通省北陸信越運輸局交通政策部交通企画課	課長	新倉 孝礼	欠席
16	国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	山田 一輝	欠席
17	国立大学法人長岡技術科学大学都市交通研究室	教授	佐野 可寸志	副会長
18	大字三国代表町内会長	浅貝町内会長	綿貫 富雄	
19	大字三俣代表町内会長	三俣1町内会長	高橋 和男	
20	大字神立代表町内会長	七谷切町内会長	笛田 道夫	
21	大字土樽代表町内会長	谷後町内会長	南雲 和幸	
22	大字湯沢代表町内会長	石白町内会長	剣持 道夫	欠席
23	南魚沼警察署交通課	課長	吉田 健一	
24	南越後観光バス株式会社 労働組合	執行委員長	有馬 真悟	欠席
25	一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構	代表理事	岡 淳朗	
26	社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会	事務局次長	角谷 洋	
27	湯沢町商工会	主任	笹川 貴央	欠席
28	東日本高速道路株式会社新潟支社湯沢管理事務所	副所長	阿部 公博	
29	一般社団法人雪国観光圏	専務理事	杉山 光洋	
事務局	湯沢町企画産業観光部	部長	南雲 剛	
事務局	湯沢町企画産業観光部企画観光課	課長	富沢 雅文	
事務局	湯沢町企画産業観光部企画観光課企画係	係長	平賀 大裕	
事務局	湯沢町企画産業観光部企画観光課企画係	主事	堀之内 はる菜	
事務局	株式会社ドーコン	地域活性化起業人	小美野 智紀	

令和5年度 第2回 湯沢町地域公共交通活性化協議会 席次表

令和6年3月27日 午前10時00分
湯沢町役場3F大会議室

雪一般社団法人
雪国観光圏専務理事
杉山 光洋 委員

湯沢町観光法人
岡 淳朗 委員

湯沢町長
田村 正幸 会長

長岡技術科学大学
佐野 可寸志 副会長

	○	○	○	○		
大字三国代表町内会長 綿貫 富雄 委員	○				○	新潟県交通政策局交通政策課長 斎藤 茂樹 委員 (代理) 交通政策課 遠藤主事
大字三俣代表町内会長 高橋 和男 委員	○				○	新潟県南魚沼地域振興局 企画振興部地域振興専門員 桑原 貴昭 委員
大字神立代表町内会長 笛田 道夫 委員	○				○	東日本旅客鉄道株式会社越後湯沢駅長 千代 達彦 委員
大字土樽代表町内会長 南雲 和幸 委員	○				○	北越急行株式会社運輸部長 桑原 信之 委員
南魚沼警察署交通課長 吉田 健一 委員	○				○	南越後観光バス株式会社取締役乗合部長 川上 洋一 委員
社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会 事務局次長 角谷 洋 委員	○				○	株式会社エンゼル観光本社営業所長 高橋 哲也 委員
湯沢町健康福祉部福祉介護課長 南雲 重幸 委員	○				○	湯沢町タクシー協会 深井 静男 委員
湯沢町子育て教育部子育て支援課長 田村 美和子 委員 (代理) 原沢大輔 子育て支援係長	○				○	東日本高速道路株式会社新潟支社 湯沢管理事務所副所長 阿部 公博 委員
湯沢町地域整備部建設課長 田村 康大 委員	○				○	国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所計画課長 水口 直人 委員
					○	新潟県南魚沼地域振興局 地域整備部計画調整課長 新保 良勝 委員
	○	○	○	○	○	○

事務局

出入口

(湯沢町地域移動環境計画) 施策の進捗状況

R5

【資料1】

目標	施策	施策(具体)	計画	方針	進捗	実施主体
1 将来にわたり、安心して暮らせる移動環境の整備	1-1 送迎バス等を組み合わせた路線バスの効率化・サービスレベル向上	1 送迎バスの路線バスへの転換・統合	検討	関係機関との調整	一部路線で事業者と検討中	湯沢町、交通事業者、索道事業者、宿泊事業者
		2 路線バスの運行頻度の増加・運行時間の拡大	検討	関係機関との調整	冬季間の土曜日に苗場線で夜間増便を実施	湯沢町、交通事業者、索道事業者、宿泊事業者
	1-2 持続可能な運行に向けた財源確保の検討	1 統一された乗車券の販売	実験	バスとシェアサイクル等を組み合わせた乗車券の実験に向けた検討	検討中 (その他、観光自主財源導入についても検討中)	湯沢町、交通事業者、索道事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	1-3 移動サービスの空白時間・地域におけるデマンド交通等の導入	1 移動サービスの空白時間・地域におけるデマンド交通等の導入	検討	施策1-1-1と併せて検討	施策1-1-1と併せて検討中	湯沢町、交通事業者
	1-4 自転車通行空間の計画的な整備推進	1 自動車通行空間の計画的な整備推進	検討	一部区間で試験施工(L=2.5km)	・一部区間で試験施工(矢羽根表示 L=2.5km) ・引き続き関係する道路管理者との協議が必要	道路管理者、警察

(湯沢町地域移動環境計画) 施策の進捗状況

			R5			【資料1】
目標	施策	施策(具体)	計画	方針	進捗	実施主体
2 誰もが利用しやすい移動環境の整備	2-1 移動サービスの情報提供コンテンツの統一化	1 系統番号の附番	○	冬季から全路線バス・送迎バスへの附番を昨年度に合わせて実施	冬季間、越後湯沢駅にて全路線バス・送迎バスへの附番を実施	交通事業者、索道事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		2 越後湯沢駅構内の案内サイン見直し	○	乗り場案内の設置	・越後湯沢駅構内に乗り場案内サインを設置 ・設置場所については今後検討が必要	交通事業者、索道事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		3 総合的情報提供の実施	○	乗り場案内の設置	・越後湯沢駅構内に乗り場案内サインを設置 ・設置場所については今後検討が必要	交通事業者、索道事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	2-2 越後湯沢駅の乗り場環境整備	1 越後湯沢駅乗降場の整備・再配置	実験	スキー場送迎バス乗り場の集約	・越後湯沢駅東口にバスの乗降場所をほぼ集約 ・東口広場のレイアウトの見直しが必要	交通事業者、索道事業者、宿泊施設、湯沢町観光まちづくり機構
		2 観光案内所の機能強化・情報提供の拡充・待合環境の改善	実験	乗り場案内の設置	・越後湯沢駅構内に乗り場案内サインを設置 ・冬期間、越後湯沢駅東口に乗り場案内のスタッフを配置	交通事業者、索道事業者、宿泊施設、湯沢町観光まちづくり機構
		3 観光シーズンの案内スタッフの配置	実験	スキーシーズンにおける人の配置	・冬期間、越後湯沢駅東口に乗り場案内のスタッフを配置 ・案内スタッフの確保が必要	交通事業者、索道事業者、宿泊施設、湯沢町観光まちづくり機構
	2-3 乗換拠点の環境整備	1 デジタルサイネージ等を活用した情報提供の実施	実験	施策2-2で実施	・越後湯沢駅構内2か所(改札口、東口)にデジタルサイネージを設置 ・設置場所については今後検討が必要	湯沢町、交通事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		2 案内所機能の整備	検討	施策2-2で実施	検討中	湯沢町、交通事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		3 乗り換え拠点の整備	検討	利便増進計画に位置付けるための検討の実施	検討中	湯沢町、交通事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	2-4 町内移動サービスの乗車券の統一	1 統一された乗車券の販売	実験	バスとシェアサイクル等を組み合わせた乗車券の実験に向けた検討	検討中	湯沢町、交通事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		2 QRコードなどの検討	検討	利便増進計画に位置付けるための検討の実施	検討中	湯沢町、交通事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	2-5 越後湯沢駅周辺歩行空間の利用環境の更なる向上	1 共同荷捌きスペースの設置検討	-		温泉通りでの路上駐車が増加しており、歩行者の安全対策の強化が必要	湯沢町、湯沢町観光まちづくり機構、警察、道路管理者
		2 自動車進入抑制方策の検討	-		温泉通りでの路上駐車が増加しており、歩行者の安全対策の強化が必要	湯沢町、湯沢町観光まちづくり機構、警察、道路管理者
		3 ベンチの設置、オープンカフェ等	検討	ナイトマルシェ等の実施結果を踏まえながら検討	検討中	湯沢町、湯沢町観光まちづくり機構、警察、道路管理者

(湯沢町地域移動環境計画) 施策の進捗状況

R5

【資料1】

目標	施策	施策(具体)	計画	方針	進捗	実施主体
2 誰もが利用しやすい移動環境の整備	2-6 移動サービスデータ等のオープン化	1 バスデータのオープンデータ化	○	・南越後観光バスのデータのオープン化を推進 ・スキー場送迎バスについて引き続き検討	・南越後観光バスのデータのオープン化を推進中 ・スキー場送迎バスについて引き続き検討	湯沢町観光まちづくり機構、交通事業者、索道事業者、宿泊施設
		2 自動車ネットワークデータのオープンデータ化	検討	魚沼GCRの位置づけを見ながら検討	魚沼GCRについてはオープンデータ化済み。町内のネットワークは検討を進める。	湯沢町観光まちづくり機構、交通事業者、索道事業者、宿泊施設
		3 スキー・トレッキング等データ整備の検討	検討		検討中	湯沢町観光まちづくり機構、交通事業者、索道事業者、宿泊施設
	2-7 駐輪場の整備による自転車利用環境の改善	1 駅利用者の駐輪場の整備	○	整備済み駐輪場の使いやすさ向上の検討	・自転車台数が増えており駐輪場の整理が必要 ・多様な自転車の利用に対応した整備も必要	湯沢町、交通事業者、商工会、湯沢町観光まちづくり機構
		2 バス停への駐輪場の設置	-			湯沢町、交通事業者、商工会、湯沢町観光まちづくり機構
		3 商店街内への自転車ラック整備	-			湯沢町、交通事業者、商工会、湯沢町観光まちづくり機構

(湯沢町地域移動環境計画) 施策の進捗状況

			R5			【資料1】
目標	施策	施策(具体)	計画	方針	進捗	実施主体
3 観光を支え、魅力を高める移動環境の整備	3-1 新たなモビリティの活用	1 シェアサイクルなどの導入	検討	・事業者を交えた意見交換・検討の実施 ・実験的導入も検討	事業者を交えた意見交換を実施中	湯沢町、湯沢町観光まちづくり機構、新モビリティ事業者
		2 グリーンスローモビリティの導入	-		-	湯沢町、湯沢町観光まちづくり機構、新モビリティ事業者
		3 電動キックボード等の導入	検討	事業者を交えた意見交換・検討の実施	・事業者を交えた意見交換を実施中 ・関係者間での試乗会を実施	湯沢町、湯沢町観光まちづくり機構、新モビリティ事業者
	3-2 路線バスの急行便や予約・定員制の導入による高付加価値路線の設定	1 高付加価値バスの運行	実験	宿泊施設と連携した実験の検討	検討中	交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	3-3 通年のアクティブ・ツーリズムに対応した移動環境の整備	1 観光客の需要に併せたバス運行形態の検討	-	施策1-1で検討	検討中	交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		2 サイクルトレイン・サイクルバスの実施	-	バス事業者と検討	検討中(貸切事業者で一部実施中)	交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	3-4 越後湯沢駅の観光案内所の機能強化	1 越後湯沢駅へのゲートウェイ機能の付加	実験	各施策を統合し案内整備等による実施	越後湯沢駅構内に乗り場案内サインを設置	交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		2 観光案内所の機能強化・情報提供の拡充・待合環境の改善(再掲)	-	施策2-1で実施	・越後湯沢駅構内に乗り場案内サインを設置 ・冬期間、越後湯沢駅東口に乗り場案内のスタッフを配置	交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		3 モビリティ・コンシェルジュ機能の付加	検討	実施に向けた検討・先進事例調査	冬期間、越後湯沢駅東口で乗り場案内のスタッフによる案内を試験的に実施	交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	3-5 運行時間帯の拡充による朝・夜間移動手段の確保	1 最終バスの繰り下げ、朝の増便	実験	実験実施の検討	冬季間の土曜日に苗場線で夜間増便を実施	湯沢町、交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		2 朝・夜間送迎サービスの活用	実験	実験実施の検討	一部路線で事業者と検討中	湯沢町、交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	3-6 誰もが楽しめるサイクリングコンテンツの整備と受け入れ環境の拡充	1 サイクリングガイドの養成	検討	講習受講(雪国観光圏)などを踏まえ検討	魚沼GCR圏域内でエスコートライダーを養成中	湯沢町観光まちづくり機構、観光事業者
		2 ポタリングなどの商品醸成	検討	商品造成に向けた検討	ポタリングマップ等の作成を検討中	湯沢町観光まちづくり機構、観光事業者
		3 多様な自動車レンタルの実施	○	カーゴバイク・チャイルドトレーラーの実験的導入を検討	カーゴバイク・チャイルドトレーラーの実車体験を実施。導入検討中	湯沢町観光まちづくり機構、観光事業者

(湯沢町地域移動環境計画) 施策の進捗状況

R5

【資料1】

目標	施策	施策(具体)	計画	方針	進捗	実施主体
3 観光を支え、魅力を高める移動環境の整備	3-7 世界に誇りうるサイクルルートの整備と環境の創出	1 雪国魚沼ゴールデンサイクルルートの整備	○	施策1-4と連携して実施	施策1-4と連携して実施中	湯沢町、交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
		2 サイクルステーションの整備	○		過年度にコンビニに等には設置済み。R5中に新規設置はなし	湯沢町、交通事業者、宿泊事業者、湯沢町観光まちづくり機構
	アーバンスポーツと一体となったサイクルスポーツ振興の推進	1 山岳地を利用した自動車商品の醸成	検討	施策3-6	検討中	湯沢町、湯沢町観光まちづくり機構

(湯沢町地域移動環境計画) 施策の進捗状況

R5

【資料1】

目標	施策	施策(具体)	計画	方針	進捗	実施主体
4 交通事故の抑制による安全安心な交通環境の実現	4-1 学校等における交通安全教育の推進	1 交通安全教育の実施	○	湯沢学園での実施	・認定こども園1回開催(年中) ・小学校1回開催(1~3年生) ・高齢者1回開催 ・バスの乗り方教室などの実施を検討中	湯沢町
	4-2 自転車の安全利用の促進	1 自転車ルールマナーの啓発	○	広報ゆざわでの掲載(6月実施済み)	広報ゆざわでの掲載(6月実施済み)	湯沢町、警察、観光事業者(レンタサイクル事業者)
	4-3 自転車盗難対策の推進	1 防犯登録の推進	○		継続中	湯沢町、警察、観光事業者(レンタサイクル事業者)
		2 駅利用者への駐輪場の整備	○		・自転車台数が増えており駐輪場の整理が必要 ・多様な自転車の利用に対応した整備も必要	湯沢町、警察、観光事業者(レンタサイクル事業者)
	4-4 高齢者の運転免許証返納の促進	1 高齢者への運転免許証返納促進	○		継続中	湯沢町、警察、観光事業者
	4-5 シッパネ防止の啓発	1 シッパネ防止の啓発	○		広報及び町内各施設等で啓発	広報ゆざわで啓発中(チラシ挟み込み)

苗場方面路線バスの夜間増便実験について

三俣・二居・浅貝地区にお泊りの観光客が夜間に越後湯沢駅周辺や浅貝地区での飲食を楽しんだり、町民の夜の移動にともなう送迎負担の軽減や移動環境の改善などによる「地域経済の活性化」を目的に、南越後観光バスの協力を得て、湯沢町観光まちづくり機構(湯沢 DMO)、湯沢町が連携し夜間増便実験を実施した。

1 運行概要

運行期間：令和6年1月6日(土)～令和6年3月9日(土)

毎週土曜日

及び“ゆざわナイトマルシェ”開催日(1/19(金)・2/11(日)・3/1(金))

対象路線：越後湯沢駅東口～西武クリスタル(系統番号①)

時刻：越後湯沢駅東口 20:00 発、21:00 発 2 便

西武クリスタル発 20:52 発 1 便

西武クリスタル発便は土曜日のみ運行

運賃：定期便同様の運賃



2 運行プロモーション

周知期間が短いこともあり、ポスター・SNSでの周知のみとなった。

三俣・二居・浅貝エリアの宿泊施設を中心にSNS等での告知協力あり

臨時増便の愛称として「よるバス」というネーミングを行い、「苗場よるバス」としてブランディングを図った。(※)

(※)夜間増便への「よるバス」というネーミングは京都市をはじめ全国で行われており、それを踏襲している。



3 利用実績

別紙のとおり

4 結果の評価と考察

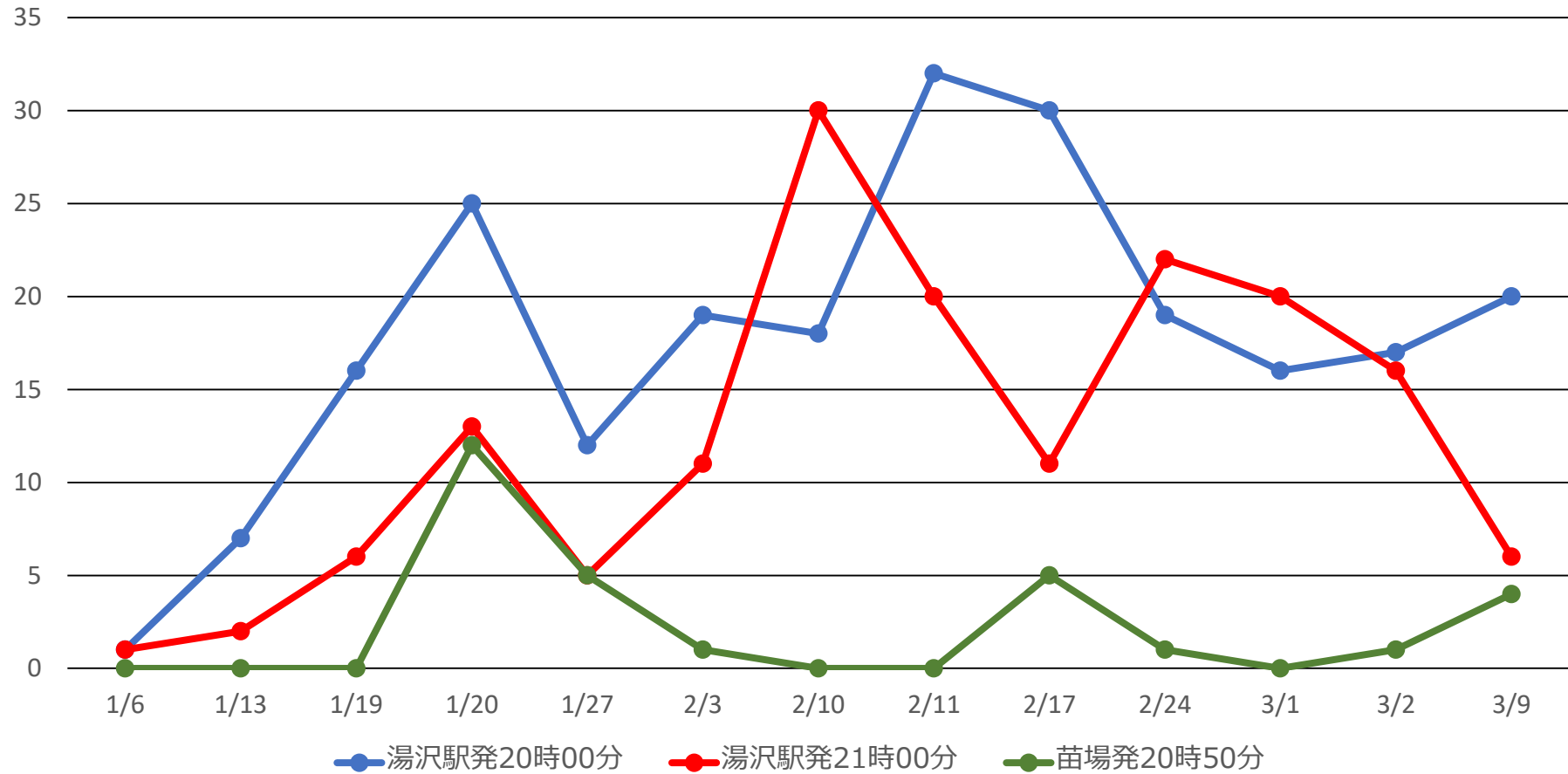
- 夜間増便については多くの利用がみられた。
- 利用者・宿泊施設からも否定的な声は聞こえていない。また、直接影響を受けるタクシー事業者からは予約の分散化や苦情軽減などの効果も把握しており、社会的・交通政策的意義が大きいと言える。
- 宿泊施設がないバス停での降車など町民の利用もみられ、夜間の移動ニーズの存在が考えられる。
- 西武クリスタル発便も浅貝地区内での利用や、苗場スキー場～三俣の利用などもみられており、新たな移動ニーズの発掘にもつながっていると考えられる。
- バス事業者においては乗務員不足などの課題もあり運行にあたり人員配置の課題があると認識。
- 一方で町として「地域移動環境計画」に示す施策であり、引き続き協力を得ながら取り組んでいく必要があると考えている。



5 今後の展開

- 観光客の夕食支援や需要の分散化による訪日外国人観光客を中心とした「オーバーツーリズム」にも対応できる施策であり、別途駅東口で実施している”ナイトマルシェ“と合わせた夜間行動の活性化により新たな湯沢町の魅力を引き出し、地域活性化に資する施策と考えている。
- バス会社の乗務員不足など課題も多いが、施策として有効であり、バス事業者と協力しながら更なる展開・拡大を図っていく必要がある。
- 合わせて町内他地域、特に宿泊施設による一定の需要が見込める地域を中心に新規設定も考えられる。

苗場よるバス乗降者数



	1/6	1/13	1/19	1/20	1/27	2/3	2/10	2/11	2/17	2/24	3/1	3/2	3/9	合計
湯沢駅発 20時00分	1	7	16	25	12	19	18	32	30	19	16	17	20	232
湯沢駅前 21時00分	1	2	6	13	5	11	30	20	11	22	20	16	6	163
苗場発 20時50分	0	0	-	12	5	1	0	0	5	1	-	1	4	29

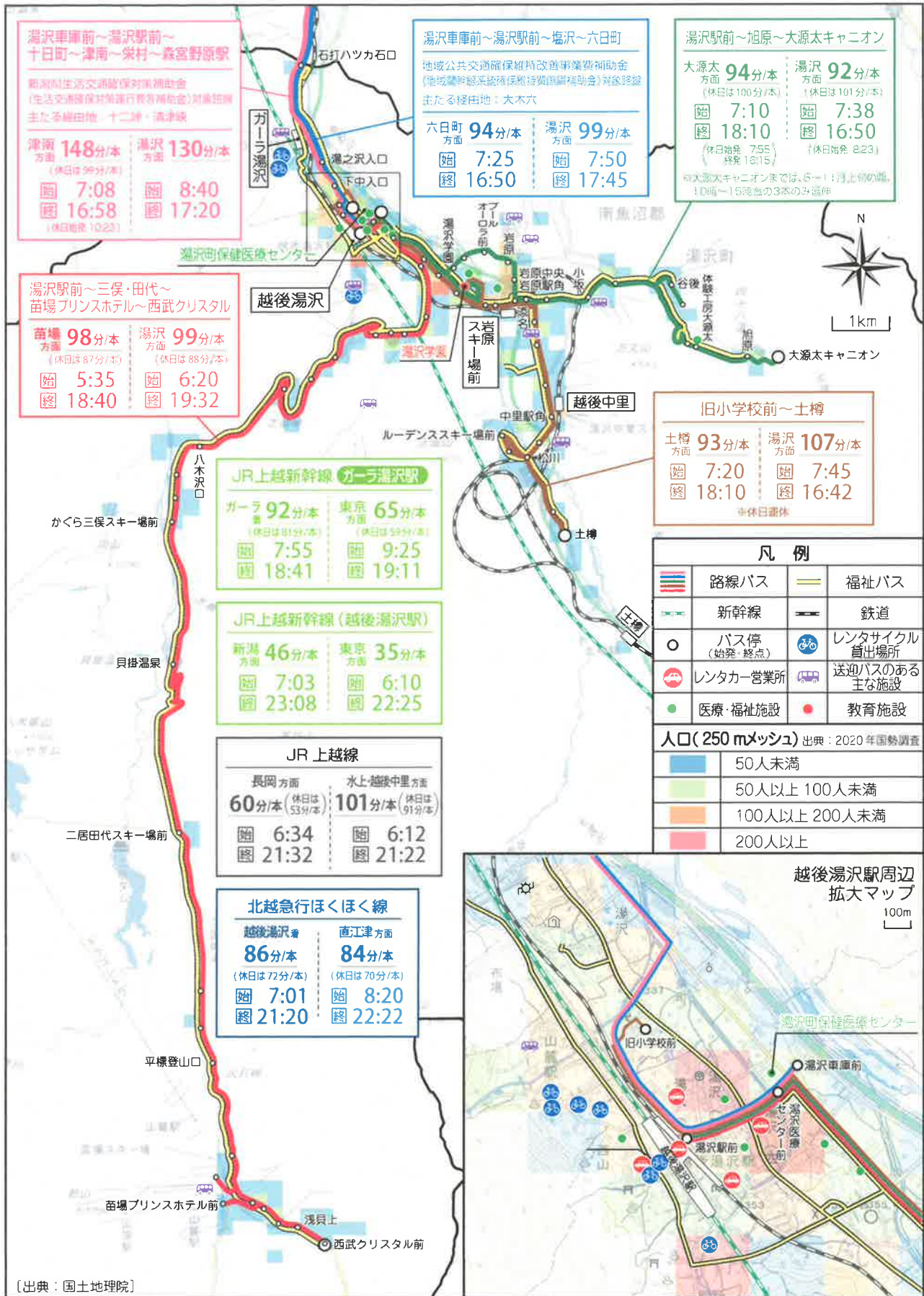


図 湯沢町内の公共交通と輸送資源